



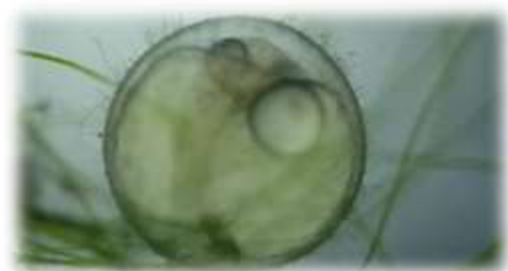
## 茗台水族館でメダカの赤ちゃん誕生



7月14日ごろ、メダカの卵が孵化(ふか)しました。左の写真は23日に撮影したもので、もうだいぶ大きくなっています。大きさは7~8mm。第2理科室脇の廊下に置いておきますので、時々観察してください。

小学校5年生でメダカの卵の観察をしたと思いますが、この理科だよりでも、メダカについて書いていきたいと思います。興味のある人は、夏休みに詳しく勉強してはどうでしょうか。

## メダカの卵



7月8日の卵の写真です。メダカの水槽の水草や、ろ過機の吸水口のフィルターに卵を見つけたのが7月7日ですが、左の写真を見ると、眼点(目のこと)が黒くなってきている、心臓が動いていることなどから、卵が産まれてから、3、4日くらい経っているかもしれません。各部分の名前などは、休み時間に見せたときに使った図(横井が書いたものでかえってわかりにくいかもしれませんが)と比較してください。向きが違うので注意してくださいね。

卵の大きさは、約1mm、しかし、この小さな卵の中には、しっかりと心臓が動き、目ができ、脳や脊髄(せきずい)もつくられています。時々、くるっと体の向きを変えています。生命って本当にすごいですね。

学校のメダカは、「楊貴妃(ようきひ)」という種類で、成魚になると赤くなるのが特徴です。しかし、この時期は体の表面の色素は全くできておらず、体の中まで透けて見えています。

一番下の写真は、7月16日の卵の写真です。眼点は黒くはっきりし、強い光を当てると、嫌がるように眼点を動かしています。体も、背骨がはっきりし、心臓や血管もはっきりしています。顕微鏡で見ると、血管の中を血球が動いていることも確認できます。また、始めの頃は大きくはっきりしていた油滴や卵黄の部分も小さくなってははっきりしなくなりました。孵化する瞬間を見たいと思っていたのですが、残念ながらできませんでした。

メダカの仔魚は、第2理科室横の廊下に置いてあります。また、違う種類のメダカの仔魚や稚魚を第2理科室の中で育てています。



# 四つ葉のクローバー



幸運になるという四つ葉のクローバー、知っていますよね。生徒の皆さんが幸せになるようにと、茗台中の植物園にも四つ葉のクローバーを入れました。

でも、左の写真何か変ですよ。

この植物、名前は「ウォーター・クローバー・ムチカ」といいます。オーストラリア原産の水生シダ植物です、水生のシダ植物はかなりまずらしく、一般のシダ植物とは全く似ていない姿ですが、日本にも、昔はたくさんありました。ナンゴクデンジソウという種類です。このムチカとは似た姿をしており、そこらじゅうの水田、または、水田のあぜ道などにたくさん生えてい

たようです。田んぼの雑草として一般的な植物でしたが、今では、絶滅危惧種に指定されています。そのナンゴクデンジソウの仲間のムチカです。シダ植物ですから、胞子で増えます。根元の方から胞子のうを先につけた柄が出てくるようです。ぜひ、見てみたいですね。

第2理科室に置いてあります。ぜひ見に来てください。四つ葉のクローバーと同じように幸運が訪れますよ。

# おもしろい形の花



おもしろい形をした花でしょう。何かに似ていませんか。前の話題が四つ葉のクローバー、今回は時計です。

花の名前はトケイソウです。そのままですね。よく見てください。中央の紫色の3本に分かれているもの、これがめしべです。時計の短針、長針ですね。次の緑色、周りが黄色のものがおしべです。黄色いところは、花粉が詰まっている葯（やく）です。その外側の細かな棒状のもの、これを副冠と呼びます。スイセンでは、まるい筒状になった部分を言います。一番外側の白い部分は、10枚あるのですが、5枚は花弁、5枚はがくです。見た目にはなかなか区別できませんが、交互に並

んでいます。面白い形ですね。

トケイソウは、トケイソウ属のつる性の植物で、南米から中米原産の植物ですが、園芸品種が多く出回っており、一部野生化もしています。いろいろな所で見ることができます。探してみてください。

また、パッションフルーツもトケイソウの仲間です。